

年間授業計画

墨田工科高等学校

教科 国語

科目 文学国語

教 科： 国語

科 目： 文学国語

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： （ 新編文学国語 大修館書店 ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者とのかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが出来るようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 文学国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者とのかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	B 単元 【知識及び技能】 主張と根拠などの関係について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や論点を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張を踏まえて、「現代の国語」の学習に積極的に取り組もうとしている	・指導事項 「変わる」ために「好奇心」が必要だという論旨をつかませる。 コミュニケーションに苦手意識を持つ生徒に対して、本文の趣旨を踏まえて励ます。 ・教材 教科書、プリント、ベーシック	【知識・技能】 主張と根拠などの関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や論点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張を踏まえて、「現代の国語」の学習に積極的に取り組もうとしている	○	○	○	15
	B 単元 【知識及び技能】 場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を正しく使い分けることに意欲を持ち、言葉を意識して、言語生活を豊かにさせる。	・指導事項 場面や目的に応じて適切な言葉を選ばせる。 敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。 ・教材 教科書、プリント、ベーシック ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を正しく使い分けることに意欲を持ち、言葉を意識して、自らの言語生活を豊かにしようとしている。				
	定期考査			○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 文、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に捉え、要旨や要点を把握している。	・指導事項 説明の仕方を学ばせる ・教材 教科書、プリント、ベーシック	【知識及び技能】 文、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に捉え、要旨や要点を把握している。	○	○	○	18
	D 単元 【知識及び技能】 説明の仕方に注意して文章を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに着目して、文章の構成をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 説明の仕方を考えながら取り組ませる。 ・教材 教科書、プリント、ベーシック ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 読むことにおいて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習に取り組み、説明の仕方を捉えようとしている。	○	○		1

2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 主張と根拠、具体と抽象、対比に着目することで、論理展開を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 論理的な文章の要旨を的確に読み取らせる。	・指導事項 筆者の主張とその根拠となる情報を的確に把握させる。 ・教材 教科書、プリント、ベーシック	【知識・技能】 主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 論理的に読むことに興味をもち、具体と抽象、対比の関係、主張と根拠の関係を捉える学習に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 具体例を用いたこと効果を捉えさせる。 段落ごとの役割を把握し、要約に生かさせる。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 説明の仕方を学ばせる ・教材 教科書、プリント、ベーシック	【知識・技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 読みことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	○	○	○	15
	D 単元 【知識及び技能】 具体例の効果を効果的にとらえさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 比喩的な表現を用いたことの効果や味わいについて考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習課題に沿って考えている。	・指導事項 対比に注目させる。 ・教材 教科書、プリント、ベーシック	【知識・技能】 比喩、例示、言い換え等の修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 【思考・判断・表現】 読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 筆者の主張に対して、実験が根拠になっていることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 図の内容と筆者の主張との関係を理解し、その効果や説得力を吟味している。 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーションにおける表情の役割について、考えを深めようとしている。	・指導事項 図との関係に注意しながら、文章を読み取らせる。 ・教材 教科書、プリント、ベーシック	【知識・技能】 主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章や図を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開について評価したりし、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 図との関係に注意しながら、筆者の主張を読み取ろうとしている。	○	○	○	12
	定期考査						
	C 単元 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報の関係についての的確に理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文全体の構成を的確にとらえ、そのねらいや効果などについて考えさせる。	・指導事項 具体的な根拠を挙げながら、説得力のある自分の意見を持てるよう指導する。 ・教材 教科書、プリント、ベーシック	【知識・技能】 筆者の主張とその根拠の関係について理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の内容について自分の考えを深めている。	○	○	○	10
	D 単元 【知識及び技能】 具体例や言い換えなどの述べ方についての確に理解し、その適切な効果などについて考えさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 図に対する筆者の主張をとらえ、それに対して適切な根拠をふまえて自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 主張とその根拠を組織的にとらえさせる。	・指導事項 適切な根拠を踏まえたうえで、自分の考えを持っている。 ・教材 教科書、プリント、ベーシック	【知識・技能】 例示や言い換えなどの述べ方について理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の内容について自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで筆者の主張とその根拠を捉え、自分の考えを持っている。	○	○	○	1
	定期考査			○	○		1
合計							105

年間授業計画

墨田工科高等学校

教 科： 地理歴史 科 目： 歴史総合

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： (高等学校 新歴史総合(第一学習社))

教科 地理歴史

の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 ・日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、図像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	歴史と私たち 歴史の特質と資料	・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解できたか。 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現できたか。 ・諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組んだか。 ・日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、図像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解できたか。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現できたか。 ・諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組んだか。	○	○	○	3
	・交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 ・近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	近代化と私たち近代化への問い	・交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けられたか。 ・近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現できたか。 ・諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	2
	中間考査	中間考査	中間考査	○	○	○	1
	・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解する。 ・18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸	18世紀のアジアの繁栄 工業化の進展と国民国家の建設	・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解できたか。 ・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解できたか。 ・18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた				

1 学 期	国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 - 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 - 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。		影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現できたか。 - 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現できたか。 - 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	3
	18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 - 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 - 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 - 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 - 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	結びつく世界と日本の開国 帝国主義とアジア諸国の変容	18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解できたか。 - 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解できたか。 - 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現できたか。 - 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現できたか。 - 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	3
	期末考査	期末考査	期末考査	○	○	○	1

2 学 期	・自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。 ・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめる技能を身に付ける。 ・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	近代化と現代的な諸課題 国際秩序の変化や大衆化への問い	・自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解できたか。 ・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現できたか。 ・国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめる技能を身に付けられたか。 ・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現できたか。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	6
	・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	第一次世界大戦と大衆社会	・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解できたか。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解できたか。 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現できたか。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現できたか。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	5
	中間考査	中間考査	中間考査	○	○	○	1
	・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。 ・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	経済危機と第二次世界大戦 第二次世界大戦後の世界と日本	・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解できたか。 ・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解できたか。 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できたか。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現できたか。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	5
	・自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	・自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解できたか。				

の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。 ・事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，主題について多面的・多角的に考察し表現する。 ・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。		大衆化の歴史を理解できたか。 ・事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，主題について多面的・多角的に考察し表現できたか。 ・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	6
期末考査	期末考査	期末考査	○	○	○	1

3 学 期	・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解する。 ・西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭	・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解できたか。 ・西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解できたか。 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できたか。 ・冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現できたか。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	5
	・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解する。 ・冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。 ・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	世界秩序の変容と日本	・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解できたか。 ・冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解できたか。 ・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現できたか。 ・冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現できたか。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	6
	・持続可能な社会の実現を視野に入れ、自ら主題を設定し、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解する。 ・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	現代的な諸課題の形成と展望	・持続可能な社会の実現を視野に入れ、自ら主題を設定し、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解できたか。 ・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現できたか。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	3
	学年末考査	学年末考査	学年末考査	○	○	○	1
合計							70

墨田工科高等学校

教 科： 数学

科 目： 数学Ⅱ

教科 数学

科目 数学Ⅱ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： (新編数学Ⅱ)

教科 数学

の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 数学の基礎知識や基礎計算力が身に付いており、基本的な問題が解ける。
- 応用問題、やや難しい問題が解け、数学的な考え方をすることができる。
- 提出物を指定された通りの内容で期限内提出ができ、授業に熱心に取り組んでいる。

科目 数学Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各単元の基本を理解し、教科書レベルの問題を解ける。	各単元の基本的事項を理解したうえで、例題程度の問題が解け、応用問題をきちんと式を書いて解け、数学的な考え方ができる。	授業中や調査前の課題プリントを正しく解答されており、指定された通りの内容で期限内に提出されている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	3 次式の展開ができる。	整式の乗法	・ 3 次式の乗法公式について理解できる。		○	○	7
	二項定理の公式と一般項を理解できる	二項定理	・ 3 次式の因数分解について理解できる。				
			・ パスカルの三角形について理解できる。				
			・ パスカルの三角形を活用して展開できる。				
			・ 二項定理について理解できる。				
			・ 二項定理を活用して展開できる。				
	整式の割り算の意味を理解できる。	整式の乗除	・ 整式の割り算ができる。		○	○	7
	分数式の四則演算ができる	分数式	・ 整式の除法の関係を理解できる。				
			・ 複雑な整式の除法が解けるようになる。				
			・ 分数式の性質について理解できる。				
			・ 分数式の四則計算ができる。				
			・ 分母や分子に分数式を含む式の計算ができる。				
	定期考査	定期考査		○			1
	虚数単位や負の平方根の意味がわかる。	複素数	・ 虚数・純虚数について理解できる。		○	○	7
			・ 複素数の相当について理解できる。				
			・ 複素数の四則演算ができる。				
			・ 負の平方根について理解できる。				
	基礎的な計算問題を解くことができる	SPI 対策	・ SPIに出題される数学Ⅱの問題について理解でき、その知識を活用して問題を解くことができる。		○	○	7
	定期考査			○			1

2 学 期	複素数の範囲で2次方程式が解ける。	2次方程式	・2次方程式の解の公式が理解できる。 ・実数解・重解・虚数解について理解できる ・2次方程式の解の判別ができる。 ・解と係数の関係について理解できる。 ・2次式の因数分解ができる。 ・与えられた2数を解とする2次方程式を作ることができる。		○	○	6
	2次方程式の解と係数の関係が理解できる。						
	因数定理を用いて因数分解ができる。	因数定理	・剰余の定理が理解できる。 ・因数定理が理解できる。 ・高次方程式が解ける。 ・因数定理を活用して高次方程式が解ける。		○	○	8
	定期考査			○			1
	等式の証明ができる。	等式の証明	・恒等式が理解できる。 ・恒等式を活用して、問題が解ける。 ・等式の証明ができる。 ・条件付き等式の証明ができる。 ・不等式の基本性質について理解できる。 ・不等式の証明ができる。 ・平方の大小関係について理解できる。 ・相加相乗平均について理解できる。		○	○	9
	内分点が理解できる。	直線上の点	・2点間の距離を求めることができる。 ・内分点の座標を求めることができる。 ・外分点の座標を求めることができる。 ・中線定理を理解できる。 ・三角形の重心を求めることができる。		○	○	7
	外分点が理解できる。	平面上の点					
	定期考査			○			1

3 学 期	直線の方程式を求めることができる。	直線の方程式	・直線の方程式について理解できる。 ・1点を通り、傾きがmの直線を求められる。 ・2点を通る直線の方程式を求められる。 ・2直線の交点を通る直線を求められる。 ・平行条件・垂直条件を理解できる。 ・円の方程式を求めることができる。 ・3点を通る円の方程式を求めることができる。 ・円と直線の関係を活用し問題が解ける。		○	○	7
	円の方程式を求めることができる。	円の方程式					
	学年末考査				○	○	1
				○			
			合計				70

年間授業計画

墨田工科高等学校

教科： 数学

科目： 数学B

教科 数学

科目 数学B

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： (実教出版 高校数学B)

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】 数学の基礎知識や基礎計算力が身に付いており、基本的な問題が解ける。

【思考力、判断力、表現力等】 応用問題、やや難しい問題が解け、数学的な考え方をすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 提出物を指定された通りの内容で期限内提出ができ、授業に熱心に取り組んでいる。

科目 数学B

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各単元の基本を理解し、教科書レベルの問題を解ける。	各単元の基本的事項を理解したうえで、例題程度の問題が解け、応用問題をきちんと式を書いて解け、数学的な考え方ができる。	授業中や考查前の課題プリントを正しく解答されており、指定された通りの内容で期限内に提出されている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	数列の意味を理解する。 一般項を n の式で表せる。 等差数列の意味を理解し、規則性を見つける。	1章 数列 1節 数列とその和 1、数列と一般項 2、等差数列	・簡単な数列から一般項を求められる。 ・一般項から数列の具体的な項を求められる。 ・等差数列の初項と公差を求められる。		○	○	7
	等差数列の一般項を n の式で表す。 等差数列の和の公式の成立を理解し活用する。 自然数の和を数列の和で表す。		・与えられた条件から等差数列の一般項を求められる。 ・等差数列の和の公式を利用して和を求められる。 ・自然数の和を等差数列の和を用いて求められる。		○	○	8
	定期考查	定期考查		○			1
	等比数列の意味を理解し、規則性を見つける。 等比数列の一般項を n の式で表す。	3、等比数列	・等比数列の初項を公比を求められる。 ・与えられた条件から等比数列の一般項を求められる。		○	○	7
	等比数列の和の公式の成立を理解し活用する。 等差数列・等比数列の基礎演習（復習）		・等比数列の和の公式を利用して和を求められる。 ・等差数列と等比数列について基礎事項問題が解ける。		○	○	8
	定期考查	定期往査		○			1

2 学 期	和を表す記号 Σ の意味を理解し具体的な数列の和を表せる。 Σ の性質を理解し活用する。自然数の和・自然数の2乗の和を Σ を用いて表す。	2節 いろいろな数列 1、和を表す記号	・Σを使って数列の和を表せる。 ・Σの性質を用いて数列の和を求められる。 ・Σの式で与えられた自然数の和、自然数の2乗の和を求められる。		○	○	7
	いろいろな数列の和 階差数列の意味を理解し見つける。 階差数列の一般項を数列の和を用いて表す。 Σ と階差数列の基礎演習（復習）	2、階差数列	・数列の階差数列を見つけられる。 ・階差数列から、もとの数列の一般項を求められる。		○	○	8
	定期考査	定期考査		○			1
	漸化式の意味を理解し活用する。 $A_n+1=P_n+Q$ の漸化式の基本形を扱える。 漸化式の基礎演習（復習）	3節 漸化式と数学的帰納法 1、漸化式	・漸化式から数列の各項を求められる。 ・漸化式を用いて数列の一般項を求められる。		○	○	6
	事象と確率の意味を理解し活用する。 いろいろな状況下の確率を求められるようにする。	2章 統計的な推測 1節 確率変数と確率分布 1、確率とその基本性質 2、いろいろな確率	・事象、試行などの意味を理解している。 ・与えられた条件から、排反事象や余事象などを利用して確率を求められる。		○	○	7
	定期考査	定期考査		○			1

3 学 期	確率分布の意味を理解し、表などを作成して活用する。 確率変数の平均・分散を求める。	2節 確率変数と確率分布 1、確率変数と確率分布 2、確率変数の平均 3、確率変数の分散	- 確率変数を用いて表を利用して確率分布を表せる。 - 具体的な状況下の確率分布を表し、答を導ける。 - 期待値（平均）の意味を理解し求められる。 - 分散の意味を理解し求められる。		○	○	7
	定期考査	定期考査		○			1
合計							70

年間授業計画

墨田工科高等学校

教科 理科

科目

化学基礎（必修修選択）

教 科： 理科

科 目： 化学基礎（必修修選択）

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 5 組 選択者

使用教科書： （ 第一学習社 『高等学校 改訂 新化学基礎』 ）

教科 理科

の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎（必修修選択）

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 物質の構成 第1節 物質とその構成要素 ①物質の分離(1) ②物質の分離(2) ③物質を構成する元素 ④元素の確認 ⑤物質の三態 ⑥原子のなりたち ⑦同位体とその利用 ⑧原子の電子配置 ⑨元素の周期律と周期表 【知識及び技能】 ・物質が混合物と純物質、および単体と化合物に分けられることを理解し、それらの違いを理解する。 ・混合物の分離や成分元素の確認などの実験を理解し、物質を探究する具体的な方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・観察・実験を通して、混合物、純物質、単体、化合物について考察し、それぞれの特徴を説明させる。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成させ、発表したりさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質に関心を持ち、物質の取り扱い方を理解させる。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究するよう意識づける。	・各単元に応じた実験を適宜行い、考察させ、実験レポートを提出させる。 ・実験手順と意味を説明し、適切な操作を出来るようにし、安全に実験を行わせる。 ・教材：ICT端末	【知識・技能】 ・物質が混合物と純物質、および単体と化合物に分けられることを理解し、それらの違いを理解している。 ・混合物の分離や成分元素の確認などの実験を理解し、物質を探究する具体的な方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・観察・実験を通して、混合物、純物質、単体、化合物について考察し、それぞれの特徴を説明できる。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質に関心を持ち、物質の取り扱い方を理解しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	13
	第2節 化学結合 ①イオン(1) ②イオン(2) ③イオン結合 ④イオンからなる物質 ⑤共有結合(1) ⑥共有結合(2) ⑦分子の極性 ⑧分子間に働く力 ⑨分子からなる物質 ⑩共有結合の結晶 ⑪金属結合と金属結晶 【知識及び技能】 ・イオン結合やイオン結合でできた物質の性質を理解させ、知識を身に付けさせる。 ・金属結合や金属結晶の性質について理解させ、知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質の性質を調べる実験を通して、化学結合と結晶の性質の関係を考察させる。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成させ、発表させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子から成り立っていることを理解させる。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究するよう意識づける。	・各単元に応じた実験を適宜行い、考察させ、実験レポートを提出させる。 ・実験手順と意味を説明し、適切な操作を出来るようにし、安全に実験を行わせる。 ・教材：ICT端末	【知識・技能】 ・イオン結合やイオン結合でできた物質の性質を理解し、知識を身に付けている。 ・金属結合や金属結晶の性質について理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・物質の性質を調べる実験を通して、化学結合と結晶の性質の関係を考察できる。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子から成り立っていることを理解しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	15

2 学 期	第2章 物質の変化 第1節 物質量と化学反応式 ①原子量 ②分子量・式量 ③物質量と粒子の数 ④物質量と質量 ⑤物質量と気体の体積 ⑥溶解と濃度 ⑦化学反応式(1) ⑧化学反応式(2) ⑨化学反応の量的関係 【知識及び技能】 ・物質の構成粒子の質量の表し方として、原子量・分子量・式量を理解させる。 ・化学変化と物理変化の違いを理解させ、化学反応を化学反応式を用いて表させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成させ、発表させる。 ・実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行わせ、結果を化学的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察させる。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究するよう意識づける。	・各単元に応じた実験を適宜行い、考察させ、実験レポートを提出させる。 ・実験手順と意味を説明し、適切な操作を出来るようにし、安全に実験を行わせる。 ・教材：ICT端末	【知識・技能】 ・物質の構成粒子の質量の表し方として、原子量・分子量・式量を理解している。 ・化学変化と物理変化の違いを理解し、化学反応を化学反応式を用いて表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 ・実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行い、結果を化学的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	13
	第2節 酸・塩基とその反応 ①酸と塩基 ②酸・塩基の強弱 ③水素イオン濃度とpH ④pHの測定 ⑤中和と塩 ⑥中和の量的関係 ⑦中和滴定 ⑧中和滴定曲線 【知識・技能】 ・水溶液の性質(酸性・中性・塩基性)と水素イオン濃度やpHとの関係を理解させ、知識を身に付けさせる。 ・中和滴定の操作や中和滴定曲線を理解させ、実験器具の適切な取り扱いやグラフの見方などの知識を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・酸・塩基の観察、実験から共通性を見だし、酸・塩基の定義を理解させ、日常生活と関連付けて考察させる。 ・中和滴定の実験を通して、それぞれの操作がどのような意味をもっているのかを理解させし、実験結果に対してどのような影響があるかを考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸、塩基や中和反応に関心をもち、それらを日常生活に関連付けて、意欲的に探究するよう意識づける。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究するよう意識づける。	・各単元に応じた実験を適宜行い、考察させ、実験レポートを提出させる。 ・実験手順と意味を説明し、適切な操作を出来るようにし、安全に実験を行わせる。 ・教材：ICT端末	【知識・技能】 ・水溶液の性質(酸性・中性・塩基性)と水素イオン濃度やpHとの関係を理解し、知識を身に付けている。 ・中和滴定の操作や中和滴定曲線を理解し、実験器具の適切な取り扱いやグラフの見方などの知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・酸・塩基の観察、実験から共通性を見だし、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて考察できる。 ・中和滴定の実験を通して、それぞれの操作がどのような意味をもっているのかを理解し、実験結果に対してどのような影響があるかを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸、塩基や中和反応に関心をもち、それらを日常生活に関連付けて、意欲的に探究しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	12

墨田工科高等学校

教 科： 保健体育

科 目： 体育

教科 保健体育

科目 体育

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： (大修館書店 ステップアップ高校スポーツ2024)

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】

運動の合理化、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】

自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。

【学びに向かう力、人間性等】

運動の楽しさや喜びを深くあじわうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理化、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解し、目的に応じた技能を身に付けさせる。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の組み合わせ方を工夫し、それらを他者に伝えることができる。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	球技 ソフトボール 体育の見方や考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、所以外にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】 技術や戦術を活用した作戦で、課題解決に向けた安全で合理的な練習の仕方があることを理解し、目的に応じたバット操作やボール操作を行えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識や技能を活用して、チームや自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、それらを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にし、運動の楽しさや喜びを深く味わい、チームとして個人として計画的な実践に主体的に取り組むことができるようにする。	①バッティング ②キャッチング ③スローイング *実技テスト：捕球から送球	【知識・技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。	○	○	○	10
1 学 期	球技 バレーボール 体育の見方や考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、所以外にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】 技術や戦術を活用した作戦で、課題解決に向けた安全で合理的な練習の仕方があることを理解し、目的に応じたバット操作やボール操作を行えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識や技能を活用して、チームや自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、それらを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にし、運動の楽しさや喜びを深く味わい、チームとして個人として計画的な実践に主体的に取り組むことができるようにする。	①直上パス（アンダー・オーバー） ②対面パス（アンダー、オーバー、スパイク） ③三段攻撃 ③ポジションを決めて、ゲーム形式の練習 *実技テスト：対面パス（アンダーハンド、オーバーハンド）、ペア活動	【知識・技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。	○	○	○	20

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	球技 サッカー 体育の見方や考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、所以外にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】 技術や戦術を活用した作戦で、課題解決に向けた安全で合理的な練習の仕方があることを理解し、目的に応じたバット操作やボール操作を行えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識や技能を活用して、チームや自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、それらを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にし、運動の楽しさや喜びを深く味わい、チームとして個人として計画的な実践に主体的に取り組むことができるようにする。	①基礎練習 対人パス、シュート ②ルールの確認 ③応用練習 ゲーム形式 *実技テスト：パス、シュート	【知識・技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。	○	○	○	14
	球技 バスケットボール 体育の見方や考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、所以外にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】 技術や戦術を活用した作戦で、課題解決に向けた安全で合理的な練習の仕方があることを理解し、目的に応じたバット操作やボール操作を行えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識や技能を活用して、チームや自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、それらを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にし、運動の楽しさや喜びを深く味わい、チームとして個人として計画的な実践に主体的に取り組むことができるようにする。	①ハンドリング ②ゴール下のシュート ③レイアップ ④フリースローラインからのセットシュート *実技テスト：ゴール下シュート レイアップ	【知識・技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。	○	○	○	28

[illegible]

年間授業計画

墨田工科高等学校

教科 外国語

科目 論理・表現Ⅰ

教科：外国語 科目：論理・表現Ⅰ 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 5 組（木曜日 5・6 限 選択科目）

使用教科書：（Atlantis Logic & Expression I Standard）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】中学校での既習事項を中心に学び直しを行い、英語の基礎力を向上を図る。

【思考力、判断力、表現力等】「自分のことを表現できる」を総目標に、自分自身や身の回りのことについて考え、表現させる。

【学びに向かう力、人間性等】学び合う仲間を尊重し、失敗を恐れずに英語で交流しながら、英語に対する苦手意識を払拭する。

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
様々な自己表現活動を通して、高1及び2年生段階での既習語彙や文法の定着を図る。	自分自身のことや自分の周りで起こっている事について、簡単な語彙や文法を使って表現する。	仲間との交流を通して、互いの共通点や相違点に気づき、自身の考えを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）					
Lesson 1 I like to meet new people. 【知識及び技能】 ・自分自身のことや身近なことを表現するために必要となる知識を理解する（知識）。 ・自分自身のことや身近なことを表現するために必要となる技能を身に付ける。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分自身のことや身近なことを表現するために、簡単な表現を用いて話して伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分自身のことや身近なことを表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えようとする。	題材：自己紹介 言語材料：不定詞、動名詞 端末を使用して単元の振り返り及びバフォーマンステストを行う。	○			○	Lesson 1 I like to meet new people. 【知識及び技能】 ・自分自身のことや身近なことを表現するために必要となる知識を理解している（知識）。 ・自分自身のことや身近なことを表現するために必要となる技能を身に付けている。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分自身のことや身近なことを表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分自身のことや身近なことを表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えようとしている。	○	○	○	5
Lesson 2 I usually wake up at 7:00 in the morning. 【知識及び技能】 ・自分の習慣を表現するために必要となる知識を理解する（知識）。 ・自分の習慣を表現するために必要となる技能を身に付ける。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の習慣を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の習慣を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあおうとする。	題材：習慣 言語材料：頻度に関する副詞 端末を使用して単元の振り返り及びバフォーマンステストを行う。	○		○		Lesson 2 I usually wake up at 7:00 in the morning. 【知識及び技能】 ・自分の習慣を表現するために必要となる知識を理解している（知識）。 ・自分の習慣を表現するために必要となる技能を身に付けている。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の習慣を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の習慣を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあおうとしている。	○	○	○	4
Lesson 3 How about going shopping? 【知識及び技能】 ・提案、許諾、拒否を表現するために必要となる知識を理解する（知識）。 ・提案、許諾、拒否を表現するために必要となる技能を身に付ける。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・提案、許諾、拒否を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・提案、許諾、拒否を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあおうとする。	題材：提案、許諾、拒否 言語材料：提案、許諾、拒否 端末を使用して単元の振り返り及びバフォーマンステストを行う。	○		○		Lesson 3 How about going shopping? 【知識及び技能】 ・提案、許諾、拒否を表現するために必要となる知識を理解している（知識）。 ・提案、許諾、拒否を表現するために必要となる技能を身に付けている。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・提案、許諾、拒否を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・提案、許諾、拒否を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあおうとしている。	○	○	○	4

学期	Lesson 4 You should visit Kyoto. 【知識及び技能】 ・アドバイスを表現するために必要となる知識を理解する（知識）。 ・アドバイスを表現するために必要となる技能を身に付ける。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・アドバイスを表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・アドバイスを表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあおうとする。	題材：アドバイス 言語材料：助動詞 端末を使用して単元の振り返り及びバフォーマンステストを行う。	○	○	Lesson 4 You should visit Kyoto. 【知識及び技能】 ・アドバイスを表現するために必要となる知識を理解している（知識）。 ・アドバイスを表現するために必要となる技能を身に付けている。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・アドバイスを表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・アドバイスを表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあおうとしている。	○	○	○	4
	Lesson 5 A pizza delivery person has to wear a uniform 【知識及び技能】 ・許可を表現するために必要となる知識を理解する（知識）。 ・許可を表現するために必要となる技能を身に付ける。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・許可を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・許可を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあおうとする。	題材：許可 言語材料：助動詞 端末を使用して単元の振り返り及びバフォーマンステストを行う。	○	○	Lesson 5 A pizza delivery person has to wear a uniform 【知識及び技能】 ・許可を表現するために必要となる知識を理解している（知識）。 ・許可を表現するために必要となる技能を身に付けている。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・許可を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・許可を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあおうとしている。	○	○	○	4
	Lesson 6 How was your vacation? 【知識及び技能】 ・過去の出来事を表現するために必要となる知識を理解する（知識）。 ・過去の出来事を表現するために必要となる技能を身に付ける。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・過去の出来事を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・過去の出来事を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあおうとする。	題材：過去の出来事 言語材料：過去形 端末を使用して単元の振り返り及びバフォーマンステストを行う。	○	○	Lesson 6 How was your vacation? 【知識及び技能】 ・過去の出来事を表現するために必要となる知識を理解している（知識）。 ・過去の出来事を表現するために必要となる技能を身に付けている。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・過去の出来事を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・過去の出来事を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあおうとしている。	○	○	○	4
	Lesson 7 What did you do last weekend? 【知識及び技能】 ・過去の経験を表現するために必要となる知識を理解する（知識）。 ・過去の経験を表現するために必要となる技能を身に付ける。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・過去の経験を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・過去の経験を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えようとする。	題材：過去の経験 言語材料：過去形 端末を使用して単元の振り返り及びバフォーマンステストを行う。	○	○	Lesson 7 What did you do last weekend? 【知識及び技能】 ・過去の経験を表現するために必要となる知識を理解している（知識）。 ・過去の経験を表現するために必要となる技能を身に付けている。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・過去の経験を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・過去の経験を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えようとしている。	○	○	○	4

2
学期

Lesson 8 I used to live in America. 【知識及び技能】 ・過去の習慣を表現するために必要となる知識を理解する（知識）。 ・過去の習慣を表現するために必要となる技能を身に付ける。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・過去の習慣を表現するために、簡単な表現を用いて書いて伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・過去の習慣を表現するために、簡単な表現を用いて書いて伝えようとする。	題材：過去の習慣 言語材料：過去形, used to 端末を使用して単元の振り返り及びパフォーマンステストを行う。		○			○	Lesson 8 I used to live in America. 【知識及び技能】 ・過去の習慣を表現するために必要となる知識を理解している（知識）。 ・過去の習慣を表現するために必要となる技能を身に付けている。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・過去の習慣を表現するために、簡単な表現を用いて書いて伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・過去の習慣を表現するために、簡単な表現を用いて書いて伝えようとしている。			○	○	○	4
Lesson 9 Big cities are more expensive than small towns. 【知識及び技能】 ・比較を表現するために必要となる知識を理解する（知識）。 ・比較を表現するために必要となる技能を身に付ける。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・比較を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・比較を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えようとする。	題材：比較 言語材料：比較級 端末を使用して単元の振り返り及びパフォーマンステストを行う。		○			○	Lesson 9 Big cities are more expensive than small towns. 【知識及び技能】 ・比較を表現するために必要となる知識を理解している（知識）。 ・比較を表現するために必要となる技能を身に付けている。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・比較を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・比較を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えようとしている。			○	○	○	5
Lesson 10 Who is the funniest person in your school? 【知識及び技能】 ・比較を表現するために必要となる知識を理解する（知識）。 ・比較を表現するために必要となる技能を身に付ける。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・比較を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・比較を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えようとする。	題材：比較 言語材料：最上級 端末を使用して単元の振り返り及びパフォーマンステストを行う。		○			○	Lesson 10 Who is the funniest person in your school? 【知識及び技能】 ・比較を表現するために必要となる知識を理解している（知識）。 ・比較を表現するために必要となる技能を身に付けている。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・比較を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・比較を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えようとしている。			○	○	○	5
Lesson 11 I wish I had more free time. 【知識及び技能】 ・事実に反する願望を表現するために必要となる知識を理解する（知識）。 ・事実に反する願望を表現するために必要となる技能を身に付ける。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・事実に反する願望を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事実に反する願望を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあおうとする。	題材：事実に反する願望 言語材料：仮定法現在 端末を使用して単元の振り返り及びパフォーマンステストを行う。		○			○	Lesson 11 I wish I had more free time. 【知識及び技能】 ・事実に反する願望を表現するために必要となる知識を理解している（知識）。 ・事実に反する願望を表現するために必要となる技能を身に付けている。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・事実に反する願望を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事実に反する願望を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えあおうとしている。			○	○	○	4

Lesson 12 If I were rich, I would buy a big house. 【知識及び技能】 ・事実に対する仮定を表現するために必要となる知識を理解する（知識）。 ・事実に対する仮定を表現するために必要となる技能を身に付ける。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・事実に対する仮定を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えよう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事実に対する仮定を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えようとする。	題材：事実に対する仮定 言語材料：仮定法現在 端末を使用して単元の振り返り及びパフォーマンステストを行う。	○	○	Lesson 12 If I were rich, I would buy a big house. 【知識及び技能】 ・事実に対する仮定を表現するために必要となる知識を理解している（知識）。 ・事実に対する仮定を表現するために必要となる技能を身に付けている。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・事実に対する仮定を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事実に対する仮定を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えようとしている。	○	○	○	4
Lesson 13 Have you ever been to Mount Fuji? 【知識及び技能】 ・自分の経験を表現するために必要となる知識を理解する（知識）。 ・自分の経験を表現するために必要となる技能を身に付ける。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の経験を表現するために、簡単な表現を用いて書いて伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の経験を表現するために、簡単な表現を用いて書いて伝えようとする。	題材：自分の経験 言語材料：現在完了 端末を使用して単元の振り返り及びパフォーマンステストを行う。	○	○	Lesson 13 Have you ever been to Mount Fuji? 【知識及び技能】 ・自分の経験を表現するために必要となる知識を理解している（知識）。 ・自分の経験を表現するために必要となる技能を身に付けている。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の経験を表現するために、簡単な表現を用いて書いて伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の経験を表現するために、簡単な表現を用いて書いて伝えようとしている。	○	○	○	5
Lesson 14 Flowers and trees will be planted in the garden. 【知識及び技能】 ・物が作られる過程や材料を表現するために必要となる知識を理解する（知識）。 ・物が作られる過程や材料を表現するために必要となる技能を身に付ける。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・物が作られる過程や材料を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物が作られる過程や材料を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えようとする。	題材：物が作られる過程や材料 言語材料：受動態 端末を使用して単元の振り返り及びパフォーマンステストを行う。	○	○	Lesson 14 Flowers and trees will be planted in the garden. 【知識及び技能】 ・物が作られる過程や材料を表現するために必要となる知識を理解している（知識）。 ・物が作られる過程や材料を表現するために必要となる技能を身に付けている。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・物が作られる過程や材料を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物が作られる過程や材料を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えようとしている。	○	○	○	4
Lesson 15 I have a friend who plays the guitar well. 【知識及び技能】 ・自分の大切な人を表現するために必要となる知識を理解する（知識）。 ・自分の大切な人を表現するために必要となる技能を身に付ける。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の大切な人を表現するために、簡単な表現を用いて書いて伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の大切な人を表現するために、簡単な表現を用いて書いて伝えようとする。	題材：自分の大切な人 言語材料：関係代名詞 端末を使用して単元の振り返り及びパフォーマンステストを行う。	○	○	Lesson 15 I have a friend who plays the guitar well. 【知識及び技能】 ・自分の大切な人を表現するために必要となる知識を理解している（知識）。 ・自分の大切な人を表現するために必要となる技能を身に付けている。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の大切な人を表現するために、簡単な表現を用いて書いて伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の大切な人を表現するために、簡単な表現を用いて書いて伝えようとしている。	○	○	○	5

年間授業計画

墨田工科高等学校

教科 国語

科目 現代の国語演習

教科： 国語

科目： 現代の国語演習

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 月曜 木曜

使用教科書： (「国語常識の総演習」(啓隆社))

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】	実社会に必要な知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者とのかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが出来るようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者とのかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	二語の関／語句の用法 【知識及び技能】 二語の関係や語句の用法について、確認問題で学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 SPI対策問題を解き、就職活動に向けた実践的な演習を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 確認問題やSPI問題を通して、現代の国語を理解する。	・指導事項 問題演習を行うことで、知識の定着を図り、思考力を身に付ける。 ・教材 問題集	【知識・技能】 二語の関係や語句の用法について、確認問題で学習している。 【思考・判断・表現】 SPI対策問題を解き、就職活動に向けた実践的な演習を行っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 確認問題やSPI問題を通して、現代の国語を理解する。	○	○	○	12
	熟語の成り立ち／文、文節の並べ替え 【知識及び技能】 二語の関係や語句の用法について、確認問題で学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 SPI対策問題を解き、就職活動に向けた実践的な演習を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 確認問題やSPI問題を通して、現代の国語を理解する。	・指導事項 問題演習を行うことで、知識の定着を図り、思考力を身に付ける。 ・教材 問題集	【知識・技能】 二語の関係や語句の用法について、確認問題で学習している。 【思考・判断・表現】 SPI対策問題を解き、就職活動に向けた実践的な演習を行っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 確認問題やSPI問題を通して、現代の国語を理解する。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

2 学 期	空欄補充／長文読解 【知識及び技能】 二語の関係や語句の用法について、確認問題で学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 SPI対策問題を解き、就職活動に向けた実践的な演習を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 確認問題やSPI問題を通して、現代の国語を理解する。	・指導事項 問題演習を行うことで、知識の定着を図り、思考力を身に付ける。 ・教材 問題集	【知識・技能】 二語の関係や語句の用法について、確認問題で学習している。 【思考・判断・表現】 SPI対策問題を解き、就職活動に向けた実践的な演習を行っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 確認問題やSPI問題を通して、現代の国語を理解する。	○	○	○	12
	対義語／三語の関係 【知識及び技能】 二語の関係や語句の用法について、確認問題で学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 SPI対策問題を解き、就職活動に向けた実践的な演習を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 確認問題やSPI問題を通して、現代の国語を理解する。	・指導事項 問題演習を行うことで、知識の定着を図り、思考力を身に付ける。 ・教材 問題集	【知識・技能】 二語の関係や語句の用法について、確認問題で学習している。 【思考・判断・表現】 SPI対策問題を解き、就職活動に向けた実践的な演習を行っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 確認問題やSPI問題を通して、現代の国語を理解する。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		2
3 学 期	総合問題 【知識及び技能】 二語の関係や語句の用法について、確認問題で学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 SPI対策問題を解き、就職活動に向けた実践的な演習を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 確認問題やSPI問題を通して、現代の国語を理解する。	・指導事項 問題演習を行うことで、知識の定着を図り、思考力を身に付ける。 ・教材 問題集	【知識・技能】 二語の関係や語句の用法について、確認問題で学習している。 【思考・判断・表現】 SPI対策問題を解き、就職活動に向けた実践的な演習を行っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 確認問題やSPI問題を通して、現代の国語を理解する。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
合計							70

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	作文の基礎 【知識及び技能】 助詞を正しく使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 助詞を正しく使用し、意味のとおり文章を作成できる。 【学びに向かう力、人間性等】 文章に対して前向きに思考できる。	・指導事項 作文の基礎を学ぶ。 ・教材 教科書、プリント、1 2 トライ	【知識・技能】 助詞を正しく使用できる。 【思考・判断・表現】 助詞を正しく使用し、意味の通る文章を正しく作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章に対して前向きに思考できる。	○	○	○	10
	一文を作る 【知識及び技能】 正しい文章の作成方法を学ぶ 【判断力、表現力等】 文章を通して意味のある表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を通して前向きに自分の思考を伝える。	・指導事項 作文の基礎を学ぶ。 ・教材 教科書、プリント、1 2 トライ	【知識・技能】 正しい文章の作成方法を学ぶ。 【思考・判断・表現】 正しい文章の作成を通して自分の思考を伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章を通して前向きに自分の思考を伝える。	○	○	○	12

2 学 期	主語と述語を対応させる 【知識及び技能】 正しい文章の作成方法を学ぶ 【判断力、表現力等】 文章を通して意味のある表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を通して前向きに自分の思考を伝える。	・指導事項 作文の基礎を学ぶ。 ・教材 教科書、プリント、12トライ	【知識・技能】 正しい文章の作成方法を学ぶ。 【思考・判断・表現】 正しい文章の作成を通して自分の思考を伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章を通して前向きに自分の思考を伝える。	○	○	○	14
	表現を磨く 【知識及び技能】 様々な表現方法について学ぶ。 【判断力、表現力等】 文章を通して意味のある表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を通して前向きに自分の思考を伝える。	・指導事項 作文の基礎を学ぶ。 ・教材 教科書、プリント、12トライ	【知識及び技能】 様々な表現方法を用いて文章を作れる。 【判断力、表現力等】 文章を通して意味のある表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を通して前向きに自分の思考を伝える。	○	○	○	14

3 学 期	適切な敬語を使う 【知識及び技能】 様々な表現方法について学ぶ。 【判断力、表現力等】 文章を通して意味のある表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を通して前向きに自分の思考を伝える。	・指導事項 作文の基礎を学ぶ。 ・教材 教科書、プリント、12トライ	【知識及び技能】 様々な表現方法を用いて文章を作る。 【判断力、表現力等】 文章を通して意味のある表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を通して前向きに自分の思考を伝える。	○	○	○	10
	慣用表現を使いこなす 【知識及び技能】 様々な表現方法について学ぶ。 【判断力、表現力等】 文章を通して意味のある表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を通して前向きに自分の思考を伝える。	・指導事項 作文の基礎を学ぶ。 ・教材 教科書、プリント、12トライ	【知識及び技能】 様々な表現方法を用いて文章を作る。 【判断力、表現力等】 文章を通して意味のある表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を通して前向きに自分の思考を伝える。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		
							合計
							70

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 【知識及び技能】 ・世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付ける。 ・さまざまな産業とそれらの分布について基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付ける。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文化の違いがなぜ生じるのかという点について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 ・世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 ・さまざまな産業の特徴や産業立地、それらの変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえる。 ・さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえる。 ・技術の発展やグローバル化などによってどのように産業が発展・変容してきたかについて、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえる。	・学習内容に応じた知識の理解及び、資料の読み取りを行い、それをもとに自らの考えを考察させ、表現・議論させる。 ・授業プリント等を提出させ、学習の取り組み具合を確認する。	【知識及び技能】 ・世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・さまざまな産業とそれらの分布について基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文化の違いがなぜ生じるのかということについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・さまざまな産業の特徴や産業立地、それらの変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・技術の発展やグローバル化などによってどのように産業が発展・変容してきたかについて、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	23
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	第2章 さまざまな地球的問題と国際協力 GLOBAL REPORT 【知識及び技能】 ・さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえる。	・学習内容に応じた知識の理解及び、資料の読み取りを行い、それをもとに自らの考えを考察させ、表現・議論させる。 ・授業プリント等を提出させ、学習の取り組み具合を確認する。	【知識・技能】 ・さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。 【思考・判断・表現】 ・地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体性に学習に取り組む態度】 ・各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	27
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	第3章 生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 ・地域調査の手順や注意すべきことを理解する。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、明らかにしたこととを適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組む。	・学習内容に応じた知識の理解及び、資料の読み取りを行い、それをもとに自らの考えを考察させ、表現・議論させる。 ・授業プリント等を提出させ、学習の取り組み具合を確認する。	【知識・技能】 ・地域調査の手順や注意すべきことを理解している。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。 【思考・判断・表現】 ・身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、明らかにしたこととを適切に表現している。 【主体性に学習に取り組む態度】 ・身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

年間授業計画

墨田工科高等学校

教 科： 地理歴史

科 目： 世界史総合演習

単位数： 2

単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： (自校作成資料)

教科 地理歴史

の目標：

【知 識 及 び 技 能】

歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史総合演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。 ・諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、主題を設定し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・世界史へのまなざし ・地球環境から見る人類の歴史	・人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解できているか。 ・諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、主題を設定し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現できたか。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	4
	・衣食住、家族、教育、余暇などの身の回りの諸事象を基に、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解する。 ・生業、身分・階級、王権、宗教、文化・思想などに関する資料から情報を読み取ったりまとめる技能を身に付ける。 ・諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し、表現する。 ・文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・日常生活から見る世界の歴史 ・諸地域の歴史的特質の形成	・衣食住、家族、教育、余暇などの身の回りの諸事象を基に、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解できたか。 ・生業、身分・階級、王権、宗教、文化・思想などに関する資料から情報を読み取ったりまとめる技能を身に付けられたか。 ・諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し、表現できたか。 ・文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現できたか。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	5
	中間考査	中間考査	中間考査	○	○	○	1
	・西アジア文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解する。 ・古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・古代文明の歴史的特質 西アジア文明 インダス文明 中華文明	・西アジア文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解できたか。 ・古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現できたか。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	5
	・西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教の成立などを基に、西アジアと地中海周辺の諸国家の歴史的特質を理解する。 ・仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などを基に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解する。 ・秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の	・西アジアと地中海周辺の諸国家 ・仏教の成立とヒンドゥー教 ・南アジアと東南アジアの諸国家 ・秦・漢と遊牧国家 ・唐と近隣諸国の動向 ・キリスト教とイスラームを基盤とした国家の形成	・西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教の成立などを基に、西アジアと地中海周辺の諸国家の歴史的特質を理解できたか。 ・仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などを基に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解できたか。 ・秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解できたか。				

	動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解する。 ・キリスト教とイスラームを基盤とした国家の形成などを基に、ヨーロッパと西アジアにおけるキリスト教とイスラームを基盤とした国家の歴史的特質を理解する。 ・西アジアと地中海周辺の諸国家の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色、東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、唐の統治体制と社会や文化の特色、唐と近隣諸国との関係、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ヨーロッパと西アジアにおけるキリスト教とイスラームを基盤とした国家の形成の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。					
期末考查	期末考查	期末考查	○	○	○	11
			○	○	○	1

・交易の拡大、都市の発達、国家体制の変化、宗教や科学・技術及び文化・思想の伝播などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 ・諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・諸地域の交流・再編	・交易の拡大、都市の発達、国家体制の変化、宗教や科学・技術及び文化・思想の伝播などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けられたか。 ・諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現できたか。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	5
・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開、宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解する。 ・アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の発展とヨーロッパの進出を構造的に理解する。 ・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸地域へのイスラームの拡大の要因、ヨーロッパの社会や文化の特色、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播 ・ヨーロッパ封建社会とその展開 ・宋の社会とモンゴル帝国の拡大 ・15～16世紀のアジア海域での交易の興隆 ・明と東アジアの動向 ・スペインとポルトガルの活動	・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開、宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解できたか。 ・アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の発展とヨーロッパの進出を構造的に理解できたか。 ・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸地域へのイスラームの拡大の要因、ヨーロッパの社会や文化の特色、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現できたか。 ・諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現できたか。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	8

2 学 期	中間考査	中間考査	中間考査	○	○	○	1
	・西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解する。 ・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解する。 ・アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、宗教改革の意義、大西洋沿岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・アジア諸地域とヨーロッパの再編 ・西アジアや南アジアの諸帝国 ・清と東アジアの動向 ・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争 ・大西洋三角貿易の展開 ・科学革命と啓蒙思想	・西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解できたか。 ・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解できたか。 ・アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現できたか。 ・ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、宗教改革の意義、大西洋沿岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現できたか。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	11
	・人々の国際的な移動、自由貿易の広がり、マスメディアの発達、国際規範の変容、科学・技術の発達、文化・思想の展開などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 ・諸地域の結合・変容に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の結合・変容を読み解く観点について考察し、問いを表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・諸地域の結合・変容	・人々の国際的な移動、自由貿易の広がり、マスメディアの発達、国際規範の変容、科学・技術の発達、文化・思想の展開などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けられたか。 ・諸地域の結合・変容に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の結合・変容を読み解く観点について考察し、問いを表現できたか。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	4
	期末考査	期末考査	期末考査	○	○	○	1

年間授業計画

墨田工科高等学校

教科： 公民

科目： 公共演習B

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： (自校作成資料)

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共演習B

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識・技能】 個性、感情、認知、発達などに着目して、豊かな個人形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方について思索を深めるための手掛かりとなる様々な人間の心の在り方について理解する。また、古来の日本人の心情と考え方や、各国の宗教に関する諸資料から、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる、人間観・自然観・宗教観について、理解する。 【思考・判断・表現】 己の生き方を見つめなおし、自らの体験や悩みを振り返り、他者、周囲段や社会などのかかわりにも着目して自己の課題を捉え、その課題を現代の諸課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現する。また、古来の日本人の心情と考え方や、各国の宗教に関する諸資料を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする。	公共的な空間を作る私たち (1) 現代社会に生きる青年 (2) 社会的な関係のなかで生きる人間	【知識・技能】 個性、感情、認知、発達などに着目して、豊かな個人形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方について思索を深めるための手掛かりとなる様々な人間の心の在り方について理解している。また、古来の日本人の心情と考え方や、各国の宗教に関する諸資料から、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる、人間観・自然観・宗教観について、理解している。 【思考・判断・表現】 己の生き方を見つめなおし、自らの体験や悩みを振り返り、他者、周囲段や社会などのかかわりにも着目して自己の課題を捉え、その課題を現代の諸課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現している。また、古来の日本人の心情と考え方や、各国の宗教に関する諸資料を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	○	○	○	5
	【知識・技能】 善、正義、義務などに着目して、社会の在り方と人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な倫理観について理解する。また各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の在り方と人間としての在り方生き方について思索する手掛かりとなる善、正義、義務などの考え方について、自分自身の考え方を振り返り、主体的に学習する。	公共的な空間における人間としての在り方生き方	【知識・技能】 善、正義、義務などに着目して、社会の在り方と人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な倫理観について理解している。また各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の在り方と人間としての在り方生き方について思索する手掛かりとなる善、正義、義務などの考え方について、自分自身の考え方を振り返り、主体的に学習している。	○		○	2
		中間考査	中間考査				

【知識・技能】 基本的人権の尊重、法の支配、権利と義務の関係など、公共的な空間における基本的原理について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考・判断・表現】 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 基本的人権の尊重、法の支配、権利と義務の関係など、公共的な空間における基本的原理について、現実社会の諸事象と課題についてそれらを実現する上での課題について、主体的に追究する。	公共的な空間における基本的原理	【知識・技能】 基本的人権の尊重、法の支配、権利と義務の関係など、公共的な空間における基本的原理について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 基本的人権の尊重、法の支配、権利と義務の関係など、公共的な空間における基本的原理について、現実社会の諸事象と課題についてそれらを実現する上での課題について、主体的に追究している。	○	○	○	4
【知識・技能】 政治と法の意義と機能、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考・判断・表現】 民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方の関連や、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代日本の政治について、政党政治や選挙などの観点から、政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方に関する現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	民主主義と私たち	【知識・技能】 政治と法の意義と機能、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方の関連や、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代日本の政治について、政党政治や選挙などの観点から、政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方に関する現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8

2 学 期	【知識・技能】 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現代社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考・判断・表現】 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察し、構想し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	経済社会で生きる私たち	【知識・技能】 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現代社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	12
	【知識・技能】 企業の経済活動と労働市場、経済主体と経済循環、財政の働きについて現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考・判断・表現】 経済活動と福祉の向上、持続可能な財政の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済活動と福祉の向上、持続可能な財政の在り方との関連について、よりよい社会の実現を視野に、自身の就職後の姿を想像しながら主体的に解決しようとする。	私たちの職業生活	【知識・技能】 企業の経済活動と労働市場、経済主体と経済循環、財政の働きについて現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 経済活動と福祉の向上、持続可能な財政の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済活動と福祉の向上、持続可能な財政の在り方との関連について、よりよい社会の実現を視野に、自身の就職後の姿を想像しながら主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	【知識・技能】 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考・判断・表現】 以下について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸事象を主体的に解決しようとする。	国際社会のなかで生きる私たち	【知識・技能】 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 以下について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸事象を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10

[illegible]

墨田工科高等学校

教科： 数学

科目： 数学演習

教科 数学

科目 数学演習

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 5 組 の選択者

使用教科書： 自校作成資料)

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】 数学の基礎知識や基礎計算力が身に付いており、基本的な問題が解ける。

【思考力、判断力、表現力等】 応用問題、やや難しい問題が解け、数学的な考え方をすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 提出物を指定された通りの内容で期限内提出ができ、授業に熱心に取り組んでいる。

科目 数学演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各単元の基本を理解し、教科書レベルの問題を解くことができる。	各単元の基本的事項を理解したうえで、例題程度の問題が解くことができる。また応用例題を式や図を用いて解くことができ、数学的な考え方ができる。	授業中に使用するプリントの例題や練習問題に積極的に取り組んでおり、期日までに漏れなく提出できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	集合の用語が理解できる 集合の記号が理解できる 集合の要素を書きだせる 共通部分と和集合を図で書き表せる ド・モルガンの法則を理解できる	2 章 集合と論証 1. 集合 集合 集合の表し方 部分集合 共通部分と和集合 補集合 ド・モルガンの法則	集合、要素の用語の意味を理解したうえで、属するか否かを判断できる。 条件に従って集合の要素をすべて書き並べることができる。 部分集合、共通部分、和集合を理解したうえで、各要素を書き表せる 補集合を理解したうえで、要素を書き表せる 法則を理解したうえで、問題に活用できる	○		○	7
	命題の真・偽が理解できる 命題と集合の関連について理解できる 否定・かつ・またはを理解できる 逆・裏・対偶を理解できる 対偶の性質を理解し、証明できる	2. 命題と条件 命題と条件 命題の真偽と集合 必要条件と十分条件 否定・かつ・または 3. 逆・裏・対偶 逆・裏・対偶 対偶を利用する証明 背理法	命題の真・偽を正確に判別できる。 条件pの否定を正確に記述できる。 ド・モルガンの法則を用いて求めることができる。 逆・裏・対偶を理解し求めることができる。 対偶の性質を理解し活用できる。		○	○	8
	定期考査	定期考査		○	○		1
	正弦定理を理解している	4 章 図形と計量 1. 正弦定理 正弦定理	正弦定理を理解したうえで問題を解ける。	○	○	○	6
	余弦定理を理解している	2. 余弦定理 余弦定理	余弦定理を理解したうえで問題を解ける。	○	○	○	8
	定期考査	定期考査		○	○		1

三角形の面積の公式(三角比)を理解している	3. 三角形の面積 三角形の面積 三角形の内接円と面積	三角形の面積公式(三角比)を活用し問題を解ける。	○		○	7
三角比を空間図形に応用できる	4. 空間図形の計量 空間図形への応用	正弦定理や余弦定理を用いて空間図形における辺の長さや面積を求められる。		○	○	8
定期考査	定期考査		○	○		1
データの分析の用語を理解している 各値を求めることができる	5 章 データの分析 1. 度数分布 2. 代表値	データの分析の用語を理解し求めることができる。 各値を求めることができ、データの分析に利用できる。 各値がデータに与える影響を理解できる。	○	○	○	7
四分位数と四分位範囲を理解している 四分位数と四分位範囲を求めることができる データをもとに箱ひげ図を書くことができる 箱ひげ図からデータの特徴を読み取ることができる	3. 四分位数と四分位範囲 1. 四分位数 2. 四分位範囲 3. 箱ひげ図	四分位数と四分位範囲を理解したうえで求めることができる。 四分位数と四分位範囲をデータの分析に利用できる。 データをもとに箱ひげ図を書くことができる。 箱ひげ図からデータの特徴を読み取ることができる。	○	○	○	7
定期考査	定期考査		○	○		1

3 学 期	分散と標準偏差を理解している 分散と標準偏差を求めることができる	1. 分散と標準偏差 分散と標準偏差 分散の計算	分散と標準偏差を理解したうえで計算で求めることができる。 分散と標準偏差の値からデータの特徴を読み取ることができる。 データの値の変動による分散と標準偏差の変化を理解し求めることができる。	○	○	3
	散布図からデータの特徴を読み取ることができる 共分散と相関係数を求めることができる	2. データの相関 散布図 共分散と相関係数	散布図からデータの特徴を読み取ることができる 共分散と相関係数を求めることができる。 共分散と相関係数を用いてデータの分析を行うことができる。 データの値の変動による共分散と相関係数の変化を理解し求めることができる。	○	○	4
	定期考査	定期考査		○	○	1
			合計	70		

墨田工科高等学校

教 科： 保健体育 科 目： 体育総合

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： （ 自校作成資料 ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

運動の合理化、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。

自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。

運動の楽しさや喜びを深くあじわうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

科目 体育総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理化、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解し、目的に応じた技能を身に付けさせる。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の組み合わせ方を工夫し、それらを他者に伝えることができる。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	球技 バレーボール 体育の見方や考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、所以外にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】 技術や戦術を活用した作戦で、課題解決に向けた安全で合理的な練習の仕方があることを理解し、目的に応じたバット操作やボール操作を行えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識や技能を活用して、チームや自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、それらを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にし、運動の楽しさや喜びを深く味わい、チームとして個人として計画的な実践に主体的に取り組むことができるようにする。	①直上パス（アンダー・オーバー） ②サーブ ③三段攻撃 ④ポジションを決めて、ゲーム形式の練習 *実技テスト：直上パス、サーブ ペア活動	【知識・技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	球技 バasketボール 体育の見方や考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、所以外にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】 技術や戦術を活用した作戦で、課題解決に向けた安全で合理的な練習の仕方があることを理解し、目的に応じたバット操作やボール操作を行えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識や技能を活用して、チームや自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、それらを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にし、運動の楽しさや喜びを深く味わい、チームとして個人として計画的な実践に主体的に取り組むことができるようにする。	①ゴール下のシュート ②レイアップ ③フリースローラインからのセットシュート ④ゲーム形式の練習 *実技テスト：ゴール下シュート レイアップ チェストパス	【知識・技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。	○	○	○	10

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	球技 サッカー 体育の見方や考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、所以外にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】 技術や戦術を活用した作戦で、課題解決に向けた安全で合理的な練習の仕方があることを理解し、目的に応じたバット操作やボール操作を行えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識や技能を活用して、チームや自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、それらを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にし、運動の楽しさや喜びを深く味わい、チームとして個人として計画的な実践に主体的に取り組むことができるようにする。	①基礎練習 対人パス、シュート ②ルールの確認 ③応用練習 ゲーム形式 *実技テスト：パス、シュート ドリブル	【知識・技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。	○	○	○	14
	球技 ソフトボール 体育の見方や考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、所以外にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】 技術や戦術を活用した作戦で、課題解決に向けた安全で合理的な練習の仕方があることを理解し、目的に応じたバット操作やボール操作を行えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識や技能を活用して、チームや自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、それらを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にし、運動の楽しさや喜びを深く味わい、チームとして個人として計画的な実践に主体的に取り組むことができるようにする。	①スローイング ②キャッチング ③バッティング *実技テスト：捕球から送球 バッティング	【知識・技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。	○	○	○	14

[illegible]